

明るく心豊かで住みやすい 佐世保のまちづくりを

佐世保市長 朝長 則男



新年明けましておめでとうござ
います。

市民の皆さまには、健やかに新
年をお迎えのこととお喜び申し上
げます。

昨年の前半は原油高騰、そして
後半には世界的な金融危機による
景気後退の大きなうねりの中で、
我が佐世保市の経済は一部の業種
で好調な動きが見られるものの、
ほとんどの業種で厳しい状況が続
き、先行き不透明な中で新しい年
を迎えました。

このような年明けですが、こと
しは佐世保の郷土民芸品「願かけ
牛」が年賀郵便切手の絵柄に採用
され、新年早々全国に三千万枚以
上が発信されました。県内の民芸

工事が進み、本年中にほぼ完了す
る見込みで、来年三月の供用開始
を待つこととなります。

石木ダム建設の推進については、
これまで「石木ダム建設促進佐世
保市民の会」を中心とする市民団
体などと活動を共にしながら、川
棚町の皆さまにご理解を得られる
よう誠心誠意お願いを続けてきま
した。ことしは事業のさらなる進
展を期待し、より一層積極的な活
動を行いたいと思います。

品では実に五十二年ぶりとのこと
であり、大変嬉しく思っています。
またことしは、昨年ノーベル化
学賞を受賞された下村脩博士(※
1)を本市へお迎えして「佐世保市
名誉市民顕彰式」を実施したいと
考えています。市民に大きな喜び
をもたらし、郷土の誇りである下
村博士を名誉市民として市民の皆
さまとともに永遠に顕彰したいと
思います。

支援等を所管する子ども未来部
を集約し、市民の皆さまが利用し
やすい施設を目指して準備を進め
ていきたいと思えます。またそれ
と同時に市の機構改革も昨年四月
に続いて実施し、新しい組織・機構
をスタートさせたいと考えていま
す。

平成二十一年は、新たな改革、
施策の始まりの年でもあります。
まずは一月一日から家庭系ごみの
二段階有料化制度におけるごみ出
しの方法やごみ袋が変わります。

観光物産の振興については、福
岡市内に特産品のアンテナショッ
プ(※2)を開設するため、昨年十
月、本市、長崎市、雲仙市の三市共
同で協議会を設置しました。こと
しはその実現に向けた基礎調査を
行うなど着実に準備を進めていき
たいと思います。

六月には市役所隣の高砂街区に
建設中である「中央保健福祉セン
ター(仮称)」がオープンする予定
になっています。同センターには、
高齢者・障がい者・保健所等を所
管する保健福祉部や、子ども・子育

市町合併については、昨年七月、
本市、江迎町、鹿町町の一市二町
で法定合併協議会を設置しました。
ことしは合併の動きが加速し、実
現に向けた最終段階に入ります。
西九州自動車道については、高
架橋工事や各インターチェンジの

本市の大きな課題である前畑弾
薬庫の移転・返還や、佐世保港にお
ける在日米海軍・海上自衛隊・民
間企業の混在を解消するための
「港のすみ分け」については、こと
しも積極的に推進を図っていきま
す。

本市では、今後とも市民第一主
義の考えの下、積極的に市民の皆
さま方との対話を重ね、協働によ
る取り組みをお願いしながら、明
るく心豊かで住みやすい佐世保の
まちづくりにまい進していきます
ので、市民の皆さまには本年も力
強いご支援と温かいご指導を賜り
ますようお願い申し上げます。

昨年から実施している市政懇談
会「おじゃまします！市長です」
や、市民の皆さまと市政を語り合
う「じげもんトーク」はことしも
引き続き開催し、皆さまのご意見

などを幅広くお聞きしていきたい
と思えます。

「佐世保市教育振興基本計画(仮
称)策定検討委員会」の第1回目の会
議を開催しました。
本委員会で活発に論議していた
だき、市民の意見を踏まえた計画
を策定することで、本市の教育施
策がさらに総合的・計画的に推進
されることを期待しています。

全国大会等における 佐世保勢の活躍

9月29日から10月1日まで大分
県で開催された「第63回国民体育
大会」の体操競技(成年女子団体総
合)では、本市出身の椋本崇子さん
が本県代表チームの監督を務め、
同じく本市出身の椋本啓子さん、
大久保奈美さん、小川知華さん、
瀬尾はやみさんが選手として出場
し、全国優勝を果たされました。

10月3日から5日まで奈良県で開
催された「第22回全日本シニアソ
フトボール大会」では「佐世保はま
なすチーム」が準優勝されました。

10月14日から22日までスリラ
ンカ・コロンボで開催された「第7
回バレーボールアジアユース男子
選手権大会」では、日本代表として
佐世保南高校2年生の前田一誠選手
と吉村康佑選手が出場し、準優勝
という成績を残されました。

これらは選手と関係者の絶え間
ない努力がもたらした成果であり、
本市のスポーツ界だけでなく、佐
世保市民の大きな誇りであると思
います。

市政の うごき

※朝長市長が12月定例市議会で
報告した内容を抜粋、要約しています。

中国でのトップセールス

10月14日から19日まで、中国か
ら本市への観光客誘致と同国での
本市物産品の販路開拓を目的に、
佐世保観光コンベンション協会、
ハウステンボスの皆さんと一緒に、
上海市、蘇州市、北京市などを訪
問しました。

上海市では、上海市旅遊事業管
理委員会や上海長崎クラブを表敬
訪問し、また蘇州市では周副市長
を表敬訪問し、今後の両市間の観
光交流について協議させていただきました。
観光友好交流会では、
両市の旅行関係者の皆さまと本市
の観光について意見交換を行いま
した。

本市の企業が進出している江蘇
省の張家港市や、下関市間のフェ
リーが運行している太倉市では、
出入国の手続きを行うフェリー
ターミナルなどを視察し、北京市
では「日本長崎フェア」に参加し、
本市のPRを行ってきました。

中国は経済発展が著しく、本市
への観光客数の増加も見込めるこ
とから、ターゲットとする地域を
見極めながら、今後も引き続き積
極的な観光客の誘致活動を行って
いきます。

佐世保市教育振興基本計画(仮称) 策定検討委員会の設置

10月27日、本市の教育振興基本
計画を本年度中に策定するため、
外部の有識者や関係団体で構成す

※1 ポストン大学名誉教授。聖心幼稚園・白南風尋常小学校卒業、旧制佐世保中学校入学後に市外に転校。
※2 特産品等を試験的に販売し、消費者の反応を調査して商品開発に役立てる販売店。